3. 未来の担い手の育成

(1) 地域教育協議会（すこやかネット）の充実をもとめて

- ①本市は、すこやかネット事業をどのように認識しているか、また、どのような方向を目指そうとしているのか
- ②各すこやかネットに対しアンケート調査をしてみても
- ③市としてどのようなサポートをしてきたのか、また今後出来ることはないのか

【答弁】

まず①につきまして、教育委員会としましては、すこやかネットの活動について地域の子どもどうし、子どもと大人、大人どうしが交流することで「顔と名前が一致する人間関係」を育み、地域の教育コミュニティづくりの推進を図るために重要な活動と認識しています。

具体には、地域のコミュニティ力の希薄化が問われている中で、すこやかネットの活発な活動によって、子どもを見守る大人のネットワークづくりの拡大や、地域清掃など子どもの地域活動への参加による社会性の育成が図られると考えられます。

これらのことから、教育委員会としましても支援を行い、校区において子ども、保護者や地域の方々と学校の協働関係を深めたいと考えております。

次に、②についてですが、地域コーディネーターの研修を受けたものの具体に何をすべきか、また、他の校区ではどのような活動をされているのか知りたいという声もございます。

実際に地域で活動されている方々のご意見などを把握することは重要と考えますことから、すこやかネットに関するアンケートを平成29年度で実施してまいりたいと考えています。

次に③についてですが、教育委員会としましては、大きく2つのサポートをしてまいりました。

一つ目は、活動に対する補助金であります。各校区でのすこやかネット設立以降、本市及び大阪府の事業を活用しておりましたが、府補助金が廃止され平成21年度は市の単費でまかない、平成22年度からは府の子育て支援交付金の一部を活用し、1校区10万円を支援しております。

二つ目は、すこやかネットを構成するメンバーの連絡会を市として年2回開催し、各校区の実践事例等の情報共有を図り、活動の活性化を図ってきたところでございます。

すこやかネットは地域の自主性により支えられている事業であり、自主財源の確保が求められているところではあります。しかしながらその確保が難しく補助金の充実を求める声もお聞きしていますことから、今後、大阪府に対してすこやかネットに対する補助制度の復活を機会あるごとに求めてまいります。

また、新たにすこやかネットの活動に利用していただける備品の一覧表を作成するなど、その利用について周知してまいりたいと考えています。

すこやかネットは、地域の教育コミュニティづくりに重要な役割を果たす組織でありますことから、今後も教育委員会といたしまして、子ども、保護者や地域と学校における交流の場がさらに発展するよう支援してまいりたいと考えています。